

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和2年2月14日 13時55分～15時15分)

注意事項

1. 試験問題の数は55問で解答時間は正味1時間20分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) (例1)、(例2)及び(例3)の問題では1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。

なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には、1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

101 保健師助産師看護師法で、保健師を定義しているのはどれか。

1. 第1条
2. 第2条
3. 第3条
4. 第4条

正解は「2」であるから答案用紙の②をマークすればよい。

答案用紙①の場合、		答案用紙②の場合、	
101	① ② ③ ④	101	101
	↓	①	①
101	① ● ③ ④	②	●
		③	→ ③
		④	④

(例 2)

102 保健師助産師看護師法が制定された年はどれか。

1. 明治 32 年(1899 年)
2. 大正 4 年(1915 年)
3. 昭和 23 年(1948 年)
4. 昭和 43 年(1968 年)
5. 平成 13 年(2001 年)

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、				
102	①	②	③	④	⑤	102	102	①	①
			↓					②	②
102	①	②	●	④	⑤			③ →	●
								④	④
								⑤	⑤

(例 3)

103 保健師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、				
103	①	②	③	④	⑤	103	103	①	●
			↓					②	②
103	●	②	③	④	●			③ →	③
								④	④
								⑤	●

(2) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

104 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答：①②%

① ②

0 0

1 1

2 2

3 3

4 4

5 5

6 6

7 7

8 8

9 9

正解は「90」であるから①は答案用紙の(9)を②は(0)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	●
104	●	1	2	3	4	5	6	7	8	9

答案用紙②の場合、

①	②
0	●
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
●	9

- 1 住民が主体となって設立する組織はどれか。
 1. 児童委員の連絡会
 2. 母子保健推進員会
 3. 公募委員による健康増進計画協議会
 4. 障害者支援のための特定非営利活動法人

- 2 地域における関係機関の連携を促すために最も有効なアプローチはどれか。
 1. 患者会の設立支援
 2. 議会へのロビー活動
 3. 地域ケア会議の設定
 4. ボランティアの育成

- 3 地域住民のエンパワメントのために行う保健師の活動はどれか。
 1. 健康格差に関する調査の実施
 2. 地区踏査による地域情報の収集
 3. 重度の障害児を対象とした家庭訪問の実施
 4. 住民による子育てに関する社会資源マップ作成の支援

4 Aさん(42歳、初妊婦、会社員)。「最近、他市から引っ越してきた」と母子健康手帳を持って市保健センターに来所した。保健師が面接したところ、Aさんは妊娠8か月、夫と2人暮らし、出産する予定の病院の変更はなく、出産後は1年間育児休業を取得し、復職を希望しているとわかった。

この時、保健師がAさんに確認する内容で優先度が高いのはどれか。

1. 両親学級の受講状況
2. 希望する保育所の有無
3. 出産後の支援者の有無
4. 出産する予定の病院の情報

5 地域アセスメントを行う際、地域の健康に影響する背景や要因を把握するために、既存の統計資料よりも保健師の地域活動から得ることが適切な情報はどれか。

1. 生活環境
2. 主観的健康観
3. 地域の主要疾病
4. 年齢別人口構成

6 市の保健師は、10名参加の6か月コースの糖尿病予防事業を開始した。グループ面接で参加者から「みんなで参加したから継続できた。あと1か月で事業が終了するが、今後1人で生活改善が維持できるか不安だ」という声が聞かれた。

参加者が事業終了後も改善した生活習慣が維持できるようにするための保健師の対応で最も適切なものはどれか。

1. 参加者の家庭訪問
2. 次年度の健康診査の受診勧奨
3. 糖尿病予防食のレシピ集の配布
4. 参加者同士のセルフヘルプグループの立ち上げへの支援

7 在胎35週、体重2,000gで出生した児。生後4か月1日で4か月児健康診査を受診した。

この時の状況で経過観察が必要なものはどれか。

1. 指しゃぶりをする。
2. あやしても笑わない。
3. 体重が5,300gである。
4. おもちゃに手を伸ばさない。

8 Aさん(17歳、女子)。保健センターにAさんの母親が来所し「Aが『学校でみんなが私の噂をしている』と言い、3か月前から不登校になっている。最近はず室から独り言が聞こえ、昼夜逆転の生活で部屋から出てこない。このままでは引きこもりになってしまう」と保健師に話した。

母親への保健師の支援で適切なのはどれか。

1. 精神障害者の家族会の参加を勧める。
2. 保健所の精神保健福祉相談を勧める。
3. Aさんと日中に少しずつ外出することを勧める。
4. 不登校になる前の学校での様子を確認するよう勧める。

9 Aさん(19歳、女性)。発達障害と軽度知的障害があり、精神障害者保健福祉手帳を取得している。特別支援学校を卒業後、Aさんは「行くところがない」と言い、終日自宅で過ごしている。母親が「このままで良いのだろうか」と市の保健師に相談した。

Aさんに社会参加を促すため、保健師が勧める障害福祉サービスで適切なのはどれか。

1. 自立訓練
2. 就労移行支援
3. 地域移行支援
4. 地域活動支援センター

10 難病の患者に対する医療等に関する法律〈難病法〉に定める難病対策地域協議会で正しいのはどれか。

1. 構成員に患者の家族が含まれる。
2. 医療費助成の支給認定を行っている。
3. 患者や家族への医療情報の提供を目的とする。
4. 都道府県、保健所を設置する市及び特別区に設置の義務がある。

11 歯科口腔保健の推進に関する法律に基づく基本的事項の目標とライフステージの組合せで正しいのはどれか。

1. 口腔状態の向上 ————— 乳幼児期
2. 歯の喪失防止 ————— 学童期
3. 健全な歯・口腔の育成 ———— 成人期
4. 口腔機能の維持・向上 ———— 高齢期

12 大型の石材を建築材料に加工する工場で、設置されている石材加工用の機械に防振ゴムを取り付け、工場内の騒音の低減を図った。

この対策に該当するのはどれか。

1. 健康管理
2. 作業環境管理
3. 作業管理
4. 総括管理

13 腸管出血性大腸菌による食中毒で正しいのはどれか。

1. 潜伏期は6～24時間である。
2. 加熱が不十分な牛肉が原因となることが多い。
3. 合併症である溶血性尿毒症症候群(HUS)の発症は成人に多くみられる。
4. 平成29年(2017年)の食中毒事件数はカンピロバクターが原因のものよりも多い。

14 レジオネラ症患者発生の届出を受けた保健所が感染の原因を調査する際に、最も重要な情報はどれか。

1. 入浴施設の利用歴
2. 発症前の食事内容
3. 蚊による刺咬の有無
4. レジオネラ症患者との接触歴の有無

15 厚生労働省が定める過重労働による健康障害防止のための総合対策はどれか。

1. 毎月の健康診断
2. 運動指導プログラムの作成
3. 健康増進サービス機関の活用
4. 時間外・休日労働時間の削減

16 陽性反応的中度が上昇する理由で適切なのはどれか。

1. 疾患の治療法が進歩した。
2. 疾患の有病率が上昇した。
3. 検査を受けた人数が増加した。
4. 検査の感度は変わらず特異度が低下した。

17 平成 28 年(2016 年)の国民健康・栄養調査の糖尿病に関する統計で正しいのはどれか。

1. 糖尿病が強く疑われる者は約 1,000 万人である。
2. 40 歳以上で糖尿病が強く疑われる者の割合は、男性よりも女性が高い。
3. 糖尿病が強く疑われる者のうち、糖尿病治療を受けている者の割合は 40 % 以下である。
4. 30 歳以上で糖尿病が強く疑われる者の割合は、女性では年齢に関係なく一定である。

18 結核の有病者数の年次推移を表す図表で適切なのはどれか。

1. 散布図
2. 円グラフ
3. 帯グラフ
4. 折れ線グラフ

19 学校保健行政に関する内容と法律の組合せで正しいのはどれか。

1. 学校医の配置 ————— 労働安全衛生法
2. 特別支援教育 ————— 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律〈障害者総合支援法〉
3. 教職員の健康診断 ————— 学校保健安全法
4. 不登校児童生徒の支援 ————— 教育基本法

20 平成 24 年(2012 年)に制定された子ども・子育て支援新制度に含まれるのはどれか。

1. 子どもの事故予防強化
2. 認定こども園制度の改善
3. マタニティマークの配布
4. 妊娠期からの児童虐待防止
5. 医療的ケアを必要とする子どもへの支援の向上

21 1 歳 6 か月児健康診査で確認するのはどれか。

1. 丸を描ける。
2. 自分の名前が言える。
3. 一人でパンツが脱げる。
4. 自分でコップを持って水が飲める。
5. ままごとなどのごっこ遊びができる。

22 乳児期の育児支援について検討するために、4 か月児の保護者を対象にグループインタビューを実施した。

その結果から得られた事項で、プリシード・プロシードモデルの準備要因はどれか。

1. 育児は楽しいと思う。
2. 家事は夫婦で分担する。
3. 子育てサークルに参加する。
4. かかりつけの小児科医がいる。
5. 父親を対象とした育児教室に参加する。

23 高齢者の医療の確保に関する法律に基づいて市町村が行う事業はどれか。

1. がん検診
2. 歯周疾患検診
3. 特定健康診査
4. 就労者の定期健康診査
5. 生活保護受給者の検診

24 市では、生活習慣病のハイリスク者である40歳から60歳でBMI 25以上の者を対象に、行動変容を促し肥満を改善することを目的として、毎週1回、1クール6回の生活習慣病予防教室を開催した。

アウトカム評価のための指標はどれか。

1. 各回の参加率
2. 参加者の満足度
3. 運営にかかった費用
4. 教室を担当した職員数
5. 参加者の6か月後のBMI

25 地域ケアシステムの発展過程で、第1段階に含まれる活動内容はどれか。

1. ケアサービスの量的拡大
2. 住民の健康課題とニーズの把握
3. 地域課題に必要なケアシステムの予算確保
4. ケアサービスの質向上のための定期的な会議の開催
5. 地域ケアシステムの運営に必要なマンパワーの確保

26 症例対照研究で正しいのはどれか。

1. 寄与危険の近似値を推定できる。
2. 研究対象とする疾病が治癒した者を対照群とする。
3. 症例群と対照群の過去の要因曝露状況を比較する。
4. 症例群と対照群を追跡調査して死亡率を比較する。
5. 症例群に試験薬、対照群に偽薬〈プラセボ〉を投与する。

27 割合の差の検定に用いるのはどれか。

1. t 検定
2. 回帰分析
3. 一元配置分散分析
4. χ^2 〈カイ 2 乗〉検定
5. Wilcoxon〈ウィルコクソン〉の順位和検定

28 標準化死亡比(SMR)で正しいのはどれか。

1. 人口の大きな集団ほど高くなる。
2. 高齢化率の高い集団ほど高くなる。
3. 昭和 60 年モデル人口を基準人口として用いる。
4. 計算には観察集団の年齢階級別人口が必要である。
5. 直接法による年齢調整死亡率の計算過程で得られる。

29 平成 28 年(2016 年)の日本の人口動態統計における自殺死亡で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 男性の死亡率は女性よりも高い。
2. 20～24 歳の死因の第 1 位である。
3. 死因順位別死亡数は第 5 位である。
4. 自殺死亡率は 10 年前よりも増加している。
5. 男性の死亡率が最も高い年齢階級は 40～44 歳である。

30 児童に感染症の疑いがある場合の養護教諭の対応で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 学級閉鎖の期間を決定する。
2. 全学級に保健だよりを配布する。
3. 保健所に出席停止の措置を連絡する。
4. 当該児童の保護者に出席停止を指示する。
5. 当該児童の保護者に医療機関受診を勧奨する。

31 Aさん(43歳、女性、公務員)。乳癌で手術を受け、手術後1か月で職場復帰となった。復帰後も仕事を継続しながら化学療法、放射線療法、ホルモン療法を行う予定である。

Aさんが利用できるのはどれか。2つ選べ。

1. 医療扶助
2. 傷病手当金
3. 介護保険制度
4. 高額療養費制度
5. 確定申告による医療費控除

32 介護老人福祉施設から保健所に、インフルエンザを発症する入所者が増加しており集団感染が懸念されるので、どのように対応したらよいかとの相談があった。

感染拡大防止のために保健所が施設に行く指導として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 未発症の入所者にN95マスクを着用させる。
2. 発症した職員の復帰は解熱の翌日からとする。
3. インフルエンザワクチン未接種の職員は自宅待機させる。
4. 多数の入所者が集まって実施しているレクリエーション活動を休止する。
5. 職員および面会者が入所者の部屋へ入退室する時にアルコールで手指消毒を行う。

- 33 自治体の保健師が行う業務管理はどれか。2つ選べ。
1. 地域活動計画と他部門の計画との整合性を判断する。
 2. 活動の評価結果を翌年度の計画に反映させる。
 3. 専門性を向上させるための研修を実施する。
 4. 地域のニーズを踏まえた地域診断を行う。
 5. 相談や訪問などの記録を管理する。
- 34 平成 27 年度(2015 年度)の社会保障給付費で正しいのはどれか。2つ選べ。
1. 医療給付費が最も多くを占める。
 2. 雇用保険の失業給付が含まれる。
 3. 給付総額は年間 300 兆円を超える。
 4. 給付総額は前年度よりも減少している。
 5. 国民 1 人あたりの給付費は約 90 万円である。
- 35 医療法に基づき都道府県が定める医療計画における 5 疾病に含まれるのはどれか。2つ選べ。
1. が ん
 2. 結 核
 3. 脳卒中
 4. 慢性肝炎
 5. 気管支喘息

次の文を読み 36～38 の問いに答えよ。

11月4日、特別養護老人ホームの看護師から「施設の入所者 A さん(87歳、女性、要介護4)に2日前から微熱があり、食欲がないため受診したところ、医師から結核の疑いがあると言われた」と保健所に相談があった。保健師が状況を確認したところ、現在は A さんを個室に移動し、介護にあたる職員はマスクを着用している。A さんに呼吸器症状はない。特別養護老人ホームでは毎年1回健康診断を実施しており、半年前に実施した健康診断の結果では、A さんに特に異常はなかったという。

36 この時の保健師の対応で適切なのはどれか。

1. A さんに結核専門病院の受診を促す。
2. A さんの居室を消毒するよう指導する。
3. 特別養護老人ホームを11月4日に訪問する。
4. 特別養護老人ホームの全入所者の面会を制限するよう伝える。

37 11月6日の夕方、A さんを診察した結核専門病院の医師から保健所に、結核の発生届が提出された。診断名は肺結核で、喀痰塗抹検査陽性、喀痰培養検査中、核酸増幅法で結核菌が確認された。胸部エックス線撮影で空洞病変が認められた。感染症対策担当の保健師は主治医に連絡し、届出内容の確認を行った。A さんには抗結核薬3剤による薬物治療が開始された。

この時の感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉に基づく保健所の対応で、優先度が高いのはどれか。

1. A さんとの面接
2. 入院勧告の手続き
3. 医療費公費負担の手続き
4. 特別養護老人ホームへの積極的疫学調査

38 感染症対策担当の保健師は A さんの接触者健康診断の対象者を選定するため、特別養護老人ホームの職員および入所者の接触状況を確認することとした。A さんは 1 年前の 11 月 1 日から入所している。

他者への感染の可能性のある期間の始期の設定で正しいのはどれか。

1. A さんの特別養護老人ホーム入所日
2. 半年前の健康診断実施日
3. 結核専門病院初診日の 3 か月前
4. 微熱の出現日
5. 結核の診断日

次の文を読み 39～41 の問いに答えよ。

A さん(35 歳、男性)は、従業員約 500 人の企業に勤務している。先日、A さんの上司から社内の健康管理課の保健師に電話があり「A さんは 4 月に他部署から異動してきましたが、最近休みがちで、月曜日は遅刻が多く表情も硬い。工作中ウトウトすることもあるため声をかけたら『医療機関に通院しているから大丈夫です』としか言わない。どう対応すればよいか」との相談があった。

39 A さんの上司への保健師の助言で適切なのはどれか。

1. 「医療機関を変えるように勧めてください」
2. 「A さんの仕事の量を減らすようにしてください」
3. 「健康管理課に相談に来るように勧めてください」
4. 「ご家族に電話をして、家庭での様子を確認してください」

40 A さんはうつ病で、6 か月の休職が必要と診断された。休職して 4 か月後、保健師が定期連絡をした際に A さんから「体調も良くなったので早く仕事に復帰したい。復職手続きとして何をしたらよいか教えてほしい」との発言があった。

A さんへの保健師の対応で適切なのはどれか。

1. 「産業医に相談しましょう」
2. 「上司に復職の意思を伝えてください」
3. 「保健師が復職に向けた調整を行います」
4. 「復職について主治医の診断書を提出してください」

41 この企業では、過去2年間で5名の職員がメンタルヘルスの不調で休職となっている。今回の経験を踏まえ、保健師は従業員のメンタルヘルスケアに取り組む必要があると考え、心の健康づくり計画を策定することとした。

計画の策定にあたり社内で話し合う場として適切なのはどれか。

1. 安全衛生委員会
2. 管理監督者会議
3. 業務改善委員会
4. 人事評価委員会

次の文を読み 42～44 の問いに答えよ。

A市(人口5万人)では、大規模災害発生に備えた医療体制の確保等のため、地域の関係機関を集めた検討を行うことになった。A市内には地域医療の中核となるB病院を含め複数の病院があるが、大規模災害の発生を想定すると、軽症者から重症者までの傷病者全てをそれらの病院で受け入れることは困難と予想される。

42 この傷病者受け入れの課題への対応で最も適切なのはどれか。

1. 発災前に応急手当用品を各家庭に配布する。
2. 緊急度に応じた搬送ができる体制を整備する。
3. 発災後にB病院の医師が市内全域を往診する。
4. 傷病者が診察を待つ場所を病院の隣に設置する。

43 A市には、食品加工工場があり、従業員の多くがA市内に在住している。また、A市の上水道の普及率は約95%であり、未整備の家庭では、生活用水として井戸水を使用している。

大規模災害時の健康危機に備えA市の保健師が平常時に実施すべき事項として適切なのはどれか。

1. 断水時に利用可能な井戸の水質検査をする。
2. 食品関連事業者に衛生管理指導を実施する。
3. 災害医療に必要な医薬品の供給体制を確保する。
4. 定期的に医療福祉機関との連携会議を開催する。

44 A市では、大規模災害を想定した災害時保健活動のマニュアルを作成することになった。

発災から72時間経過した時期の保健師活動としてマニュアルに記載する内容で適切なのはどれか。

1. 生活習慣病予防教室の開催
2. 住民へのハザードマップの配布
3. 災害対応にあたる職員の健康管理
4. 災害時保健活動全体のまとめと評価

次の文を読み 45～47 の問いに答えよ。

肥満者に対する新規の糖尿病発症予防プログラムを立案し、従来のプログラムと比較して新規のプログラムの効果を評価することとした。特定健康診査の受診者で糖尿病ではないことが確認できた肥満者 200 人を、従来のプログラム群と新規のプログラム群にそれぞれ 100 人ずつ登録してプログラムを実施し、その後 3 年間の新規の糖尿病発症の有無を確認することとした。

45 この研究デザインはどれか。

1. 横断研究
2. 介入研究
3. コホート研究
4. 症例対照研究
5. 生態学的研究

46 従来のプログラム群と新規のプログラム群の 2 群間において、対象者の背景を均一にする必要があると考えられた。

背景を均一にするための最も適切な方法はどれか。

1. 制限
2. 層化
3. マッチング
4. 無作為抽出
5. 無作為割付

47 それぞれのプログラムを実施し、その後3年間の新規の糖尿病発症の有無を確認した。結果を以下に示す。

		新規のプログラム群(人)	既存のプログラム群(人)
3年間の新規の糖尿病発症の有無	あり	20	25
	なし	80	75

新規のプログラム群の既存のプログラム群に対する新規の糖尿病発症の相対危険を求めよ。

ただし、小数点以下第2位を四捨五入すること。

解答： .

- ① ②
- 0 0
- 1 1
- 2 2
- 3 3
- 4 4
- 5 5
- 6 6
- 7 7
- 8 8
- 9 9

次の文を読み 48、49 の問いに答えよ。

人口 40 万人の A 市。3 年前から出生数が増加傾向にある。最近、乳幼児相談時に、保健師に対しておやつや指しゃぶりなど育児に関する細かな相談をする母親や育児不安を訴える母親が増えている。

48 A 市の育児に関する健康課題を明確にするため保健師が優先して行うのはどれか。

1. 新生児家庭訪問結果の分析
2. 両親学級の参加者情報の確認
3. 乳幼児相談の内容のカテゴリー化
4. 母子健康手帳交付時の面接内容の分析
5. 4 か月児健康診査に対する母親へのアンケートの実施

49 A市では1年前に新しく建設された大規模マンションがあり、出産を控えた妊婦や乳幼児のいる家族が多く居住していた。地区担当保健師はこの地区で安心して子育てができるよう、新たな事業を計画することとした。

地区担当保健師が最初に計画する内容で最も適切なのはどれか。

1. 市内の産婦人科医療機関との連携を強化する。
2. 乳幼児を持つ親と妊婦との交流会を開催する。
3. 要保護児童対策地域協議会で事例検討を行う。
4. 転入してきた妊婦の家庭訪問を行う。

次の文を読み 50、51 の問いに答えよ。

A さん(32 歳、男性)。父親は死去し、母親は隣の市で生活している。A さんは 26 歳の頃に会社で「自分は何でもできる」と言い、話がすぐに飛躍し強引な契約やミスが続き、27 歳で退職となった。翌年、無理な自動車運転による交通事故を起こし、入院先の病院で双極性障害と診断された。1 か月の入院ののち退院したが、その後はアルバイトを転々としながら 1 人で暮らしていた。

50 ある日、母親が来所し「A の自宅に行ったら、ずっと布団に入ったまま、食事もちゃんと摂っていないようだ。A は眠れない、死にたいと言っている。どうしたら良いか」と相談があった。保健センターの地区担当保健師が母親と一緒に A さん宅を訪問した。A さんは、痩身で顔は青白く、表情は乏しい。

保健師が確認する A さんの情報で優先されるのはどれか。

1. 自殺企図
2. 睡眠の状況
3. 食事の摂取量
4. 布団から出ない理由

51 Aさんは3か月間、精神科に医療保護入院した。退院後は地区担当保健師が、月1回程度訪問をしている。退院3か月が経過したある日、Aさん宅を訪問するとAさんは笑顔で覇気があり「薬に頼らなくても、よく眠れるようになりました。体調も良いし、先生も次回受診のことは言ってなかったので通院はもう終わりです。これからアルバイトを探す予定です」と話した。

Aさんへの地区担当保健師の支援で最も優先度が高いのはどれか。

1. 患者会への参加を勧める。
2. 就労移行支援の利用を勧める。
3. 保健師同伴での受診を勧める。
4. 民生委員に見守りを依頼することの了解を得る。

次の文を読み 52、53 の問いに答えよ。

A さん(19 歳、男性)。大学生。1 人暮らし。発熱および全身に発疹が出現したため、5 月 20 日に大学の近くの診療所を受診した。麻疹の疑いがあるため血液検査を実施し、血清 IgM 抗体陽性のため、5 月 22 日に診療所の医師から保健所に届出があった。A さんは5月上旬に海外旅行に出かけ、不特定多数の人と接触があった。

52 保健所の保健師が発生届を受理した際に診療所の医師へ確認することで優先度が高いのはどれか。

1. 海外旅行先
2. 現在の療養場所
3. 診断結果の本人への説明
4. PCR 法による病原体遺伝子の検出
5. 海外旅行以外での感染の機会の有無

53 Aさんへの行動調査の結果を表に示す。帰国後、大学以外の場で接触した者は(a)～(d)であった。

日付	Aさんの行動等	症状	大学以外の場での接触者
5月3日(金) ～6日(月)	海外旅行 帰宅時に公共交通 機関利用		(a)公共交通機関の利用 者
5月7日(火) ～11日(土)	大学(自転車通学)		
5月12日(日)	コンビニエンススト アでのアルバイト		(b)アルバイト先の従業 員および客
5月13日(月)	大学(自転車通学)		
5月14日(火)			
5月15日(水)	カラオケ		(c)高校時代の友人
5月16日(木)		帰宅後発熱	
5月17日(金)		発熱	
5月18日(土)	↓	↓	
5月19日(日)	自宅療養	解熱後に発疹出現	
5月20日(月)	医療機関受診(徒 歩)	発熱・発疹 ↓ ↓	(d)医療機関の従事者お よび待合室に居た者
5月21日(火)	自宅療養	↓ ↓	
5月22日(水)	↓ 麻疹と診断	↓ ↓	

(a)～(d)のうち、麻疹発症のリスクがある接触者はどれか。

1. (a) (b) (c) (d)
2. (a) (b) (c)
3. (b) (c) (d)
4. (c) (d)

次の文を読み 54、55 の問いに答えよ。

A 君(8 歳、男児)は、これまで学習面では支障をきたすことはなかったが、こだわりが強いところがあり、友達とのトラブルが起きることもあった。小学校 3 年生になってクラス替えがあり、図画工作の授業になると落ち着かない状態になり、教室を抜け出すことが多くなった。校舎内を歩き回ることも多く、養護教諭が落ち着くまで付き添い、どうしても A 君が教室に戻らないときには、母親に迎えに来てもらうようになった。A 君は母親とともに医療機関を受診した結果、自閉症スペクトラム障害と診断された。

54 校内では学級担任と養護教諭、管理職で対応が話し合われた。その結果、学校と家庭が連携して A 君に必要な支援を進めるために、母親が地域の関係機関に A 君のことを相談するよう養護教諭から母親に話をするようになった。

A 君の母親に提案する地域の関係機関で、最も適切なのはどれか。

1. 子育て世代包括支援センター
2. 発達障害者支援センター
3. 社会福祉協議会
4. 児童養護施設
5. 児童館

55 A君と母親が地域の関係機関を訪れて相談し、A君の得意なことと苦手なことが明らかとなり、学校は必要な支援の方針を確認することができた。母親からも「Aの状況が分かって良かった。Aにあった支援をお願いしたい」という言葉が聞かれた。支援の結果、A君は、徐々に、授業を抜け出したくなると保健室に来るようになってきた。一方で、教室には落ち着いていられない状況は続いている。そこで特別支援コーディネーター、スクールカウンセラーも交えた校内委員会を開催して、A君への今後の対応について検討した。

A君への対応で最も適切なのはどれか。

1. 保健室内での養護教諭による学習の支援
2. スクールカウンセラーとの面談
3. 特別支援学級への通級の検討
4. 学校行事への参加の促進

